

# 川での水難防止ポイント

例年、道内の川では、水遊び中に深みにはまって溺れたり、川に入り魚釣り中、転倒して流されるなどの水難が発生しています。  
川での水難を防止するため、次の点に注意しましょう。

## ○ 出かける前に天気や川の情報をチェック

川などに行く前に、天気や川の情報をチェックしましょう。  
悪天候が予想されているときは、無理をせず、中止・延期を検討しましょう。  
また、上流にダムがある場合は水量や水の需要に応じて放水することがあり、その場合は急激に増水することがあります。

## ○ 危険を示す掲示版、水流が速い・深みがあるところは避ける

川では「危険を示す看板」が設置されているところがあります。

そうした掲示版がある場所では遊ばないようにしましょう。

また、川の地形は複雑であり、同じ川でも場所によって川の流れが速くなっていたり、急に深くなったりする場所があります。

そのようなところには近づかないようにしましょう。



## ○ 河原や中州、川幅の狭いところに注意

河原や中州は、急な増水により水没する可能性があります。

特に中州は、増水すると逃げ道がなくなり、取り残されてしまう危険があります。

また、川幅が狭い場所は、増水すると短時間のうちに水位が上昇し、川の流れが速くなるおそれがあります。こうした場所では特に注意が必要です。

## ○ 天気や川の変化に注意する

川边にいるときは、天候の変化や川の状態に注意しましょう。

次のような変化が見られたときは、川の水が急に増えるサインです。すぐに避難しましょう。

- ・上流(水が流れてくる方)の空に黒い雲が見えたとき
- ・雷が聞こえたとき
- ・雨が降り始めたとき
- ・落ち葉や流木、ゴミが流れてきたとき



【政府広報オンライン出典】